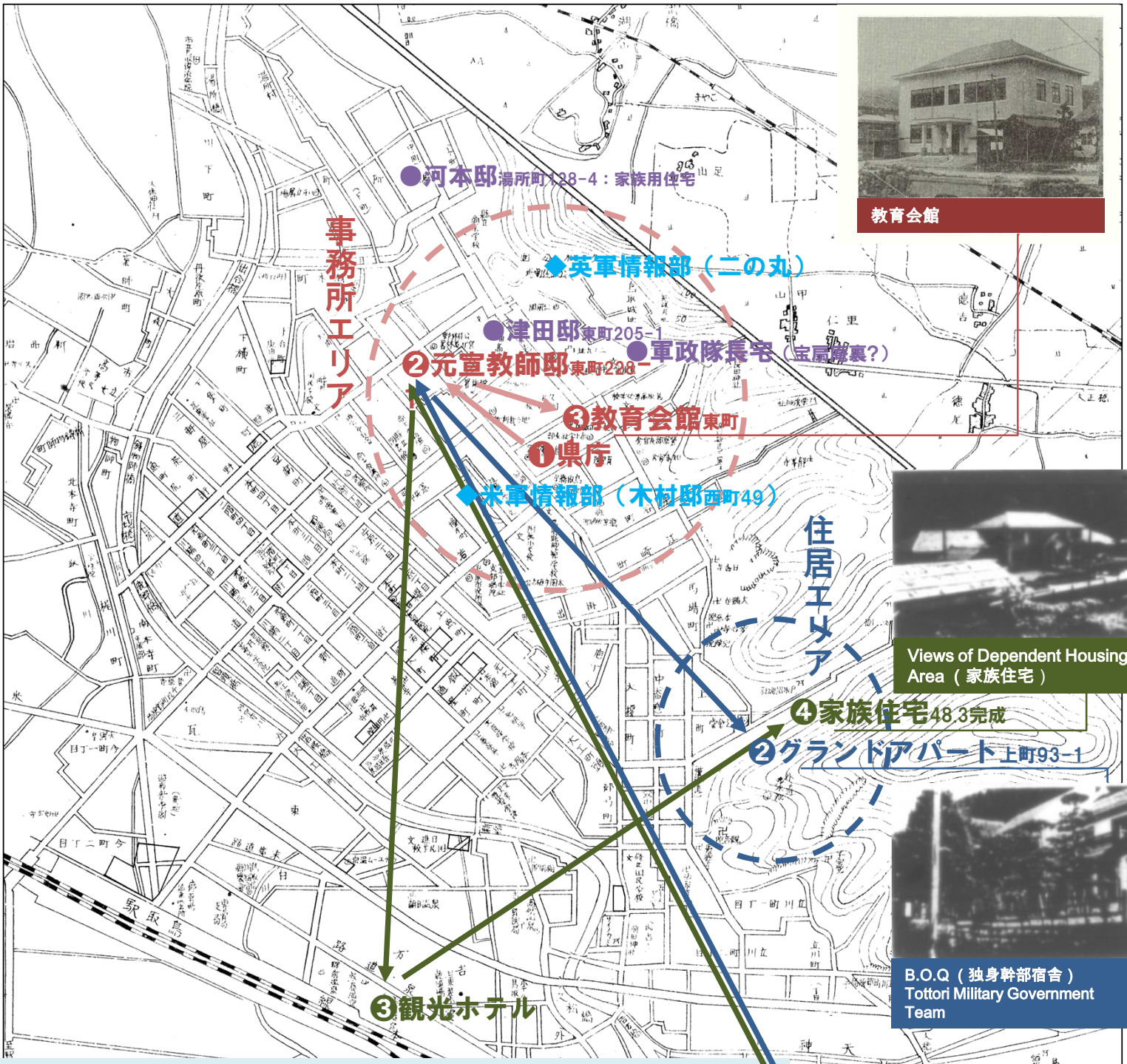
鳥取市内の進駐軍事務所・宿舎マップ

2019/05/25公文書館　西村

元地図は鳥取県立公文書館所蔵舞鶴海軍施設部「鳥取地方震災被害調査報告書」所収地図を加工
宿舎位置はOccupational History of Tottori Military Government Team (19 October 1945 -19 October 1948)、「米子市渉外関係綴」『鳥取県史 近代 資料篇』 等から作成



鳥取軍政部　隊長・事務所・宿舎の変遷

	1945.10-	46.3-	46.5-	46.7-	47.5-	48.3-49.12
事項	米軍の岩倉兵舎進駐、武装解除業務と初期軍政の開始	軍政隊事務所を県庁から元宣教師邸へ移転	米軍に代わり英インド軍が進駐し岩倉兵舎に駐留したため、軍政隊宿舎も元宣教師邸へ移転	地方占領軍政の本格化。鳥取軍政部の設置に伴い軍政部事務所を教育会館2階におき、グランドアパートを接収して将校用住居に。	元宣教師邸の火災焼失に伴い下士官宿舎を分散移転。47年8月15日インドが英連邦から独立しパンジャブ連隊は10月までに帰国。	上町家族用住宅の完成、将校・下士官の移転
	武装解除	軍政中隊		府県軍政部		府県民政部
軍政隊長	45.10オスボン 46.2サリバン		46.6- アリマ	46.7ー ノーラン	47.6- ヴァンダーヴィープ	48.10-メイヤー 48.11-センシング
軍政部事務所	❶県庁	❷元宣教師邸		❸教育会館		
将校宿舎	❶岩倉兵舎			❷樗谿グランドアパート		
下士官宿舎					❸観光ホテル，●市内接収住宅	❹家族用住宅 将校10、下士官5

❶岩倉兵舎
45年10月～米軍
46年5月～47年8月インド軍